

怒濤精神 II



沖縄県立糸満高等学校

令和6年1月12日(金)

発行者 校長 金城 栄一

第18号

校内マラソン・駅伝大会

昨年の12月22日(金)校内マラソン・駅伝大会を開催しました。ものすごい寒さで生徒・職員震えながらの開催でしたが、大盛り上がりで大成功であったと思います。

マラソンの部は、女子が2km、男子が2.7km。駅伝の部は、女子が7区間で各区分1.3km、男子が10区間で各区分2kmで実施しました。

マラソンの部においては、各自が自分のペースを守り最後までしっかり走ってくれました。制限時間内で走れなかった生徒や走り終えた後体調不良を起こす生徒も数名いましたが、大きなトラブルはありませんでした。

駅伝の部においては、下記の目的が十分に達成できたと思います。選手皆が全力で走り、見ている生徒も一生懸命に応援していました。本校の校訓に

女子マラソン

1位	秋田桃香(1-1)
2位	大城美空(2-4)
3位	新垣陽菜(1-1)

男子マラソン

1位	城間歎大(2-8)
2位	山城力也(1-4)
3位	大城太晴(1-4)

駅伝総合順位

1位	2年6組	1時間57分46秒
2位	3年8組	2時間1分3秒
3位	1年3組	2時間3分10秒



目的

- ①完走の喜びや仲間とタスキをつなぎ、ゴールを目指すことでクラスの団結を図る。
- ②自己に適したペースを維持し、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競争したりできるようにする。
- ③体育の学習等で構成された技能及び体力をさらに高める機会とする。

「立命感動」があります。己の天分を積極的に切り開いて勇躍し、自他に感動を与える人間性豊かな人という意味です。多くの生徒職員に大きな感動を与えたと思います。

駅伝総合で2位になった3年8組さんは、部活が終了し受験等でなかなか体を動かす機会がない中での2位は大健闘だと思います。



3学期・2024年スタート

いよいよ3学期がスタートしました。今年辰年です。校長として勤務できるのもあと1年です。精一杯頑張りたいと思います。

さて、始業式でも話しましたが、様々な目標を抱いて新年を迎えたことと思いますが、目標達成に向けて努力を怠らないようお願いいたします。また「努力」には「正しい努力」があることも考えて欲しいと思います。

3年生は、卒業し4月になれば全員が18歳で成人になります。様々なことに自己責任が伴います。事を起こす前にしっかりと自分の頭で考え行動して欲しいと思います。難しい判断は、誰かに相談するのも一つの方法です。

2年生は、いよいよ受験に向けて始動する時期です。3学期という意識ではなく、3年生0学期という意識で物事を考え行動して欲しいと思います。

1年生は、糸満高校の中心になります。4月には新入生が入学してきます。先輩としての自覚を行動で示して欲しいと思います。



軽トラック同窓会より贈呈

昨年、本校同窓会より軽トラックを寄贈して頂きました。そして、2学期終業式の日には贈呈式を行いました。本校は、



行事や部活動が盛んであることから荷物の運搬に大変助かります。

本校同窓会からは、その他に、生徒会への活動補助や自主学习ノート「ロード」の配布等があり、感謝です。



バザー収益金寄付

9月に開催された「糸高祭」において、バザーを実施した3クラス(1年2組、2年1組、3年4組)が、その収益金の全額を糸満市社会福祉協議会に寄付しました。これは、沖共募糸満市共同募金委員会からの赤い羽根共同募金への協力依頼に基づき行っています。本校の活動が様々な人々への支援に繋がれば幸いです。

